

第50回 令和元年度事業報告

1 会員の異動

	期首会員数	入会員数	退会員数	期末現在数
正会員	102	4	7	99
準会員	4	0	0	4

2 事業報告

(1) ICT事業の積極的推進

本年度、代理店販売において難しい局面を迎え苦戦が強いられる販売環境下であった。NTT東西の回線販売数が減少し、NTT東日本のフレッツ光全戸プランのインセンティブが12月以降廃止となり、4月以降については基本手数料も廃止となった。光コラボ商材に関してはソフトバンク光を主に販売しているが、販売量を増やすことが出来ず、結果、今期予算を大幅に割り込むことになった1年であった。

(2) 委員会運営について

事業、総務、会員増強、経理、経営・企画戦略委員会の各委員会が独自の提案を行い、個々の活動を充実、活性化が行われた。事業委員会ではハルエネ電気の取り扱いを開始し、通信以外の商材の充実を図った。

(3) 各支局の活性化

北日本、首都圏、関西・東海、南日本支局ごとに勉強会の実施内容、回数や支局予算の活用方法について明確なルールを設けた。昨今の新型コロナウイルス感染症の影響で勉強会等の集まりが出来ない為、テレビ会議システムを活用し実施をしていく。

(4) 理事の体制、運営方法見直しによる効率化と経費削減

理事会・委員会ではTV会議を活用した。音声や資料の共有に関する課題があったが、システムを導入し解決した。1月から導入をしており、交通費・会議費は前年に比べ既に6%削減することが出来ている。今期も引き続き活用し、経費削減に努める。